

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標	実績値	目標値	評価 (自己評価の結果)	改善策																																																																																								
				令和3年度	令和4年度																																																																																										
基礎的・基本的な知識・技能を定着させ、思考力・判断力・表現力を育成する。	①主体的な学びを促進する	①②③ 必然性のある課題設定、導入の工夫、振り返りの充実、協働的な学習活動の活用を通して授業改善を図る  ①② プロジェクト型学習の考え方を生かし、課題発見・解決学習の各過程を位置づけた単元開発と実践を図る  ①③ 探究的な学習の充実を目指し、小中連携を図った総合的な学習の時間のカリキュラム開発と実践を図る  ①②③ 主体的に取り組ませ、基礎・基本の定着を図る家庭学習指導の改善をする	・生徒自己評価アンケート肯定的評価の割合  ・授業の振り返りの記述・発表・表現内容	<table border="1"> <tr> <th>(生徒自己評価)</th> <th>肯定的な評価</th> <th>評価4の割合</th> </tr> <tr> <td>主体的な姿勢</td> <td>90.1%</td> <td>28.8%</td> </tr> <tr> <td>課題意識</td> <td>91.9%</td> <td>23.4%</td> </tr> <tr> <td>積極的な発言</td> <td>57.7%</td> <td>17.1%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>「主体的な姿勢」に係る肯定的な評価をしている生徒は9割以上、「積極的な発言」に課題</li> <li>振り返りシートA評価の生徒3割程度</li> </ul>	(生徒自己評価)	肯定的な評価	評価4の割合	主体的な姿勢	90.1%	28.8%	課題意識	91.9%	23.4%	積極的な発言	57.7%	17.1%	・主体性に係る自己評価 肯定的評価全項目90%以上  ・A評価の生徒50%以上	<table border="1"> <tr> <th>(生徒自己評価)</th> <th>肯定的な評価</th> </tr> <tr> <td>主体的な姿勢</td> <td>92.6%</td> </tr> <tr> <td>見通しをもった計画</td> <td>82.4%</td> </tr> <tr> <td>課題意識</td> <td>74.1%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>「授業では、課題の解決に向けて、進んで資料を集めたり取材をしたりしている。」と肯定的に回答した生徒は75%程度と低い。</li> <li>振り返りシートに記述した内容を共有する機会を増やしたので、感想で終わる生徒が減少した。また、A評価の生徒は4割程度で向上してきた。</li> </ul>	(生徒自己評価)	肯定的な評価	主体的な姿勢	92.6%	見通しをもった計画	82.4%	課題意識	74.1%	・授業において、導入や協働的な学びの場の設定の工夫を引き続き実施する。 ・情報を収集し、整理する必要のある学習課題の提示を積極的に行う。 ・簡単な <u>予習を取り入れた家庭学習課題を提示</u> する。 ・振り返りシートの記述で良い内容のものについては、 <u>全体で共有する場を設ける</u> 。																																																																				
	(生徒自己評価)	肯定的な評価	評価4の割合																																																																																												
	主体的な姿勢	90.1%	28.8%																																																																																												
課題意識	91.9%	23.4%																																																																																													
積極的な発言	57.7%	17.1%																																																																																													
(生徒自己評価)	肯定的な評価																																																																																														
主体的な姿勢	92.6%																																																																																														
見通しをもった計画	82.4%																																																																																														
課題意識	74.1%																																																																																														
②基礎・基本の定着を図る	①③ 探究的な学習の充実を目指し、小中連携を図った総合的な学習の時間のカリキュラム開発と実践を図る  ①②③ 主体的に取り組ませ、基礎・基本の定着を図る家庭学習指導の改善をする	・全国学力・学習状況調査全国平均との比較  ・各学年標準テスト目標値との比較	<p>3年生全国学力・学習状況調査結果</p> <table border="1"> <tr> <th>(平均正答率)</th> <th>本校</th> <th>全国</th> </tr> <tr> <td>国語</td> <td>62</td> <td>64.6</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>59</td> <td>57.2</td> </tr> </table> <p>江田島市標準学力調査結果</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">(平均正答率)</th> <th colspan="2">1年</th> <th colspan="2">2年</th> </tr> <tr> <th>本校</th> <th>目標値</th> <th>本校</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>国語</td> <td>60.0</td> <td>58.5</td> <td>61.3</td> <td>59.1</td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>52.6</td> <td>57.0</td> <td>58.2</td> <td>58.3</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>50.6</td> <td>60.0</td> <td>43.0</td> <td>56.9</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>53.4</td> <td>58.0</td> <td>56.8</td> <td>58.5</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>52.0</td> <td>57.3</td> <td>40.7</td> <td>50.9</td> </tr> </table>	(平均正答率)	本校	全国	国語	62	64.6	数学	59	57.2	(平均正答率)	1年		2年		本校	目標値	本校	目標値	国語	60.0	58.5	61.3	59.1	社会	52.6	57.0	58.2	58.3	数学	50.6	60.0	43.0	56.9	理科	53.4	58.0	56.8	58.5	英語	52.0	57.3	40.7	50.9	・全国学力・学習状況調査(全国比)各教科4ポイント以上  ・江田島市学力調査各教科目標値以上	<p>全国学力・学習状況調査結果</p> <table border="1"> <tr> <th>(平均正答率)</th> <th>本校</th> <th>全国</th> </tr> <tr> <td>国語</td> <td>67</td> <td>69.0</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>49</td> <td>51.4</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>50</td> <td>49.3</td> </tr> </table> <p>江田島市標準学力調査結果</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">(平均正答率)</th> <th colspan="2">1年</th> <th colspan="2">2年</th> </tr> <tr> <th>本校</th> <th>目標値</th> <th>本校</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>国語</td> <td>64.3</td> <td>55.8</td> <td>61.8</td> <td>64.3</td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>48.7</td> <td>60.3</td> <td>41.8</td> <td>50.2</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>57.0</td> <td>53.4</td> <td>44.0</td> <td>53.3</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>54.3</td> <td>56.0</td> <td>50.6</td> <td>47.8</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>60.7</td> <td>54.0</td> <td>48.3</td> <td>54.2</td> </tr> </table> <p>（国(-2) 数(-1.4) 理(+0.7)）</p> <p>（目標値以上の教科は、1年生国・数・英、2年生理）</p>	(平均正答率)	本校	全国	国語	67	69.0	数学	49	51.4	理科	50	49.3	(平均正答率)	1年		2年		本校	目標値	本校	目標値	国語	64.3	55.8	61.8	64.3	社会	48.7	60.3	41.8	50.2	数学	57.0	53.4	44.0	53.3	理科	54.3	56.0	50.6	47.8	英語	60.7	54.0	48.3	54.2	・問題文を整理して読み取らせる指導を行い、やり切る粘り強さを身に付けさせる。 ・国語・数学・英語において、 <u>授業の始めの基礎的な内容の繰り返し学習を継続</u> して取り組む。 ・「 <u>毎日ノート</u> 」の取組を継続し、学習習慣を身に付けさせていく。内容が不十分な生徒には、個別に課題を提示したりする。 ・授業で復習の時間を設け、 <u>既習内容を繰り返し指導</u> を引き続き行い、定着を図る。
(平均正答率)	本校	全国																																																																																													
国語	62	64.6																																																																																													
数学	59	57.2																																																																																													
(平均正答率)	1年		2年																																																																																												
	本校	目標値	本校	目標値																																																																																											
国語	60.0	58.5	61.3	59.1																																																																																											
社会	52.6	57.0	58.2	58.3																																																																																											
数学	50.6	60.0	43.0	56.9																																																																																											
理科	53.4	58.0	56.8	58.5																																																																																											
英語	52.0	57.3	40.7	50.9																																																																																											
(平均正答率)	本校	全国																																																																																													
国語	67	69.0																																																																																													
数学	49	51.4																																																																																													
理科	50	49.3																																																																																													
(平均正答率)	1年		2年																																																																																												
	本校	目標値	本校	目標値																																																																																											
国語	64.3	55.8	61.8	64.3																																																																																											
社会	48.7	60.3	41.8	50.2																																																																																											
数学	57.0	53.4	44.0	53.3																																																																																											
理科	54.3	56.0	50.6	47.8																																																																																											
英語	60.7	54.0	48.3	54.2																																																																																											
③表現力を育成する	③ 道徳、特活、総合等の成果を400字程度にまとめる活動をすすめる	・「授業の振り返り」記述・発表等  ・ヤングスポット他各種作文コンクールへの出品数	・生徒の振り返りの意識81.1% ・ヤングスポットに定期的に応募し、13名掲載(生徒一人当たり作文3編～4編書いて出品)	・振り返りの質の向上 振り返りに係る意識調査85%以上  ・掲載数の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>「<u>学習の振り返りをするときには、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげている</u>」と肯定的に回答した生徒は82.0%であった。</li> <li>「<u>学習の振り返りをするときには、『もっと考えてみたいこと』、『もっと調べてみたいこと』、『もっと工夫してみたいこと』などを考えている</u>」と肯定的に回答した生徒は83.6%であった。</li> <li>ヤングスポットの掲載数は、1月末時点で14名である。</li> </ul>	・振り返りシートに記述する内容の具体例を示す機会を増やす。 ・振り返りをする中で、何を学んだかを実感させ、学習内容を確実に身に付けさせたり、自分の変容や成長を自覚させる。そのために、授業では、 <u>本時の目標とまとめがつながるように意識</u> する。 ・部活動や地域のことなど、書かせる内容の幅を広げたり、年間を通していつどの時に書かせるかの計画を立てるなど、 <u>組織的に取り組む</u> 。																																																																																									
豊かな心と社会性の育成を図る。	④「時を守り、場を清め、礼を正す」取組を推進する	・生徒会の自治活動を中心として、aノーチャイム、b黙動清掃、c立腰・黙想、d挨拶の活性化を図る	・生徒自己評価アンケート肯定的評価の割合  ・生徒委員会取組の成果の実感	<table border="1"> <tr> <th>(生徒自己評価)</th> <th>肯定的な評価</th> <th>評価4の割合</th> </tr> <tr> <td>aノーチャイム</td> <td>96.4%</td> <td>36.9%</td> </tr> <tr> <td>b黙動清掃</td> <td>93.7%</td> <td>53.2%</td> </tr> <tr> <td>c立腰・黙想</td> <td>85.6%</td> <td>28.8%</td> </tr> <tr> <td>d挨拶</td> <td>90.1%</td> <td>37.8%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>「委員会取組の成果を感じている」77.5%</li> </ul>	(生徒自己評価)	肯定的な評価	評価4の割合	aノーチャイム	96.4%	36.9%	b黙動清掃	93.7%	53.2%	c立腰・黙想	85.6%	28.8%	d挨拶	90.1%	37.8%	・全項目95%以上  ・全委員会90%以上	<table border="1"> <tr> <th>(生徒自己評価)</th> <th>肯定的評価(前期)</th> <th>肯定的評価(後期)</th> </tr> <tr> <td>aノーチャイム</td> <td>97.2%</td> <td>95.1%</td> </tr> <tr> <td>b黙動清掃</td> <td>87.0%</td> <td>89.3%</td> </tr> <tr> <td>c立腰・黙想</td> <td>99.1%</td> <td>95.9%</td> </tr> <tr> <td>d挨拶</td> <td>95.4%</td> <td>95.1%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>前期の結果を受けて取り組んだ立腰、黙想の結果が向上した。</li> <li>「<u>委員会の取組に、成果を感じている</u>」と肯定的に回答した生徒は77.9%で前期よりも低下した。</li> </ul>	(生徒自己評価)	肯定的評価(前期)	肯定的評価(後期)	aノーチャイム	97.2%	95.1%	b黙動清掃	87.0%	89.3%	c立腰・黙想	99.1%	95.9%	d挨拶	95.4%	95.1%	・教員全員で取り組むことは、生徒への結果として現れることを確認し、さらに生徒が <u>立腰、黙想を行う理由が語れるようになることを目指して指導</u> していく。 ・生徒が主体的に活動し、 <u>教員が失敗も受け止めながら、挑戦させる姿勢を持ち続ける</u> 必要がある。																																																										
(生徒自己評価)	肯定的な評価	評価4の割合																																																																																													
aノーチャイム	96.4%	36.9%																																																																																													
b黙動清掃	93.7%	53.2%																																																																																													
c立腰・黙想	85.6%	28.8%																																																																																													
d挨拶	90.1%	37.8%																																																																																													
(生徒自己評価)	肯定的評価(前期)	肯定的評価(後期)																																																																																													
aノーチャイム	97.2%	95.1%																																																																																													
b黙動清掃	87.0%	89.3%																																																																																													
c立腰・黙想	99.1%	95.9%																																																																																													
d挨拶	95.4%	95.1%																																																																																													
⑤道徳科、特別活動の充実を図る	・全教員が道徳科授業に参画し、道徳的な見方、考え方の幅を広げる  ・学校行事等の目的を再確認し、生徒と共有し、精選を進めるとともに充実を図る	・生徒自己評価アンケート肯定的評価の割合  ・生徒・保護者アンケート肯定的評価の割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>「道徳の授業では、自分のことを振り返りながら考えている。」91.0%(評価4 50.5%)</li> <li>「道徳の授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしている。」91.9%(評価4 48.6%)</li> <li>生徒の学校行事満足度95.5%</li> <li>保護者の学校行事満足度92.5%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒道徳(4段階の4のみ)満足度60%以上</li> <li>生徒学校行事満足度95%以上</li> <li>保護者学校行事満足度95%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「道徳の授業では、自分のことを振り返りながら考えている。」88.5%(評価4 57.4%)</li> <li>「道徳の授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしている。」88.5%(評価4 45.1%)</li> </ul> <p>学校行事満足度 生徒：93.4% 保護者：95.4%</p>	・授業内容を自分ごととしてとらえさせるなどし、自分の考えを振り返らせさせるように、さらなる授業改善に努めていく。 ・考えを交流しやすいような雰囲気づくり、 <u>学級づくりに取り組む</u> 。 ・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、行事等の充実に取り組む。																																																																																									
⑥不登校生徒への取組を充実させる	・担当教員を中心とした組織的な取組の充実 ・教育相談体制の充実	・不登校生徒数	・7人	・3人	<ul style="list-style-type: none"> <li>4人(12月末現在)</li> <li>なやみの相談日を毎月実施し、延べ95人の生徒に対応した。</li> <li>SCによるグループ面談を実施し、気になる生徒や配慮が必要な生徒について、様々な視点から生徒理解を進めることができた。</li> <li>アセスと心と身体のチェックリストを活用し、生徒の実態を把握し、共通理解を図り、支援を行うことができた。</li> </ul>	・生徒の情報(環境やストレス、人間関係思考等)の的確な把握に努め、 <u>不登校等支援会議で有効な支援やアプローチについて検討し、教職員全員で取り組む</u> 。 ・個人・グループ面談を定期的実施し、生徒の悩みや不安を早期発見する。把握した課題に対して <u>学年会、分掌会で支援策を立て取組み</u> 、教育相談体制の強化を図る。																																																																																									
健やかな体の育成と体力の向上を図る。	⑦体育的活動を充実させ、体力を向上させる	・生徒の主体性を活かした保健体育科の授業改善を図る ・業間運動への全教員の参画をすすめる ・目的に沿った体育的行事、生徒の自主性を育成する部活動の充実を図る ・部活動の充実(部活動指導員の活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題のあった種目の向上※再調査時、記録更新した生徒の割合</li> <li>「運動やスポーツが好き」に対して、肯定的に答える生徒の割合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業間運動で、主体的に取り組める仕掛けを用意したが、新型コロナウイルス感染症の拡大のため未実施</li> <li>「運動やスポーツが好き」80.2%(44.1%が4段階の4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録更新生徒95%以上</li> <li>前回の本校調査以上</li> </ul>	<p>自己記録更新生徒の割合</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">1年</th> <th>男子</th> <td>78.0%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <th>女子</th> <td>23.0%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">2年</th> <th>男子</th> <td>62.5%</td> <td>94.0%</td> </tr> <tr> <th>女子</th> <td>73.0%</td> <td>87.0%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>「<u>運動やスポーツが好き</u>」と肯定的に回答した生徒は73.8%で、前期よりも減った。</li> </ul>	1年	男子	78.0%	100%	女子	23.0%	100%	2年	男子	62.5%	94.0%	女子	73.0%	87.0%	・部活動での体力向上への取組を行う。 ・体育の授業では、最初に <u>持久力を向上させるための取組を継続</u> する。 ・楽しみながらスポーツに親しめるよう、運動の楽しさを伝えていく。																																																																										
1年	男子	78.0%	100%																																																																																												
	女子	23.0%	100%																																																																																												
2年	男子	62.5%	94.0%																																																																																												
	女子	73.0%	87.0%																																																																																												